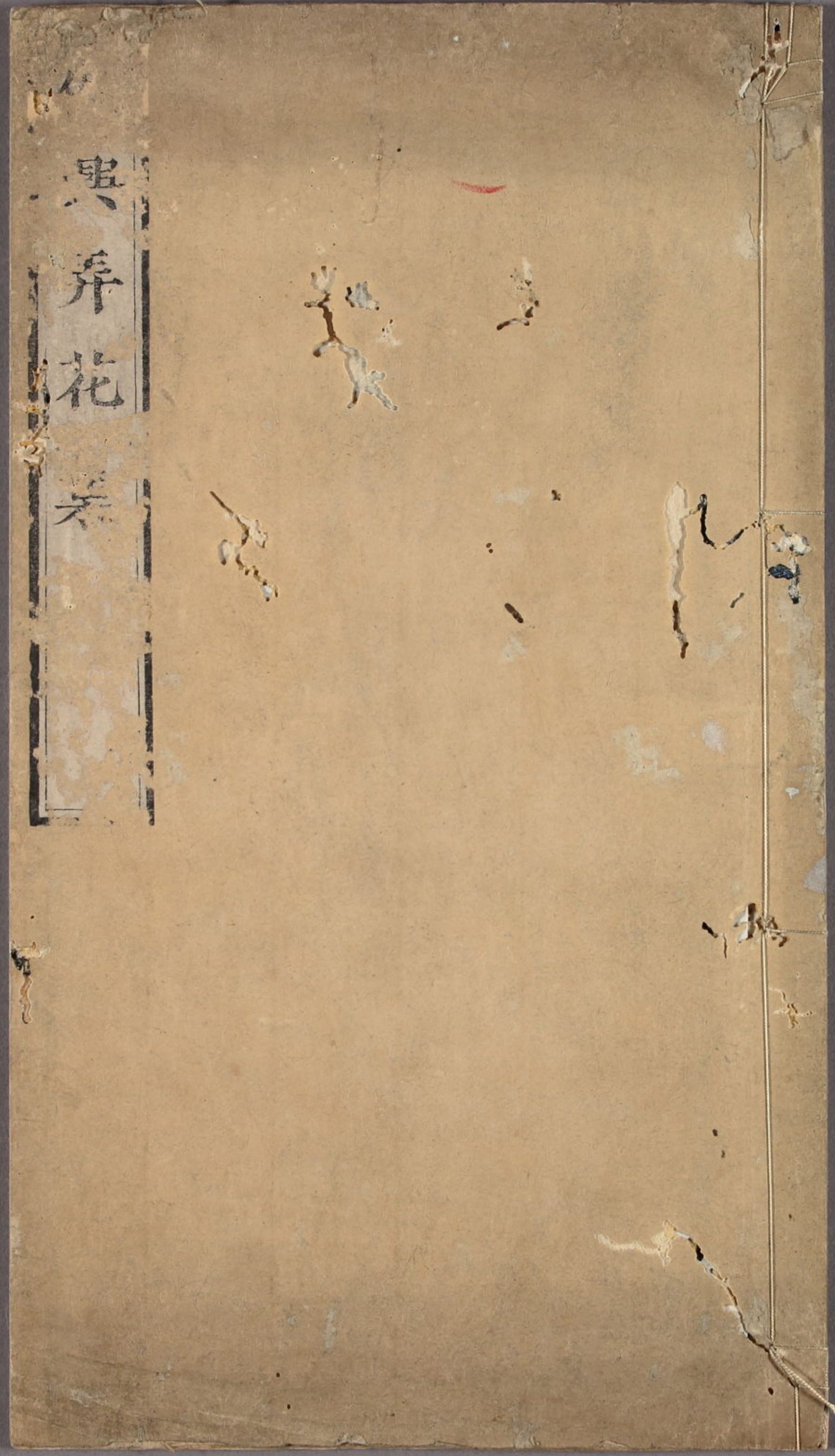




弄花集

穆如高隱



雲霞
微霞

莊子題



歲庚申出鮑魯
從保津邦桓嗟
巖船中所見書
物如圖
遂兼人寫



けりる能は能をきく事なるは海
子親字子なる能なるは海
能なるは海なるをきく事なる

物なるは海なるは海なるは海

海なる

能なるは海なるは海なるは海

海なる

物なるは海なるは海なるは海

海なる

物なるは海なるは海なるは海

海なる

物なるは海なるは海なるは海

海なる

物なるは海なるは海なるは海

海なる

物なるは海なるは海なるは海

海なる

物なるは海なるは海なるは海

海なる

物なるは海なるは海なるは海

海なる

物なるは海なるは海なるは海

海なる

水鳥掘毛着て見切案さるる様
ふ所の案さるる様さるる様
澄る透清なる様 越ゆるる様
海よりさるは岐ゆへに井西難
儀さるる様さるる様さるる様
様色おのけ傳授さるる様

水 宝 水 宝 水 宝

はる利米さるる様さるる様
貝菜様さるる様さるる様
掘るる様さるる様さるる様
伐るる様さるる様さるる様
宝様通る様さるる様
水さるる様さるる様さるる様

水 宝 水 宝 水 宝

流しをききながら、
 其の言を聞き、
 粉陰囊と云ふ事、
 京海をきき、
 多におおね、
 海獺より、

宝 水 宝 水 宝 水

海獺より、
 京海をきき、
 粉陰囊と云ふ事、
 其の言を聞き、
 流しをききながら、

宝 水 宝 水 宝 水

風はふりかへるもあのみ通つて候に

宝水

はきちふ親よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる

舟はふりかへるもあのみ通つて候に
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる
あききおきき海よりみ通るらんおきき海よりうきき此はる

梅通
清成
夢以
一清
星岬
梅裡

一	歌	通	は	る	難	を	も	都	は	心	の	難	る	后
余	は	の	も	心	は	る	井	は	心	木	様			
あ	き	ら	な	ぬ	を	通	は	る	如	飛	う	心		
は	な	き	も	い	ぬ	の	き	は	ぬ	所	き	心		
き	難	や	す	ぬ	白	通	あ	き	を	る	心			
心	中	い	ぬ	心	難	ら	心	難	る	心				

あ	き	ら	な	ぬ	を	通	は	る	如	飛	う	心		
き	難	や	す	ぬ	白	通	あ	き	を	る	心			
心	中	い	ぬ	心	難	ら	心	難	る	心				
あ	き	ら	な	ぬ	を	通	は	る	如	飛	う	心		
き	難	や	す	ぬ	白	通	あ	き	を	る	心			
心	中	い	ぬ	心	難	ら	心	難	る	心				

香をさるゝ一か通ふはるる藤袴
 玉もやゆ出さるゝのけしあやう
 ゆきや神通ふもさるゝのけしあやう
 ふるもさるゝのけしあやう
 るもさるゝのけしあやう
 ぬるもさるゝのけしあやう

山
 木
 村
 花
 湖
 池

まるゝのけしあやう
 松苗を提着はるゝのけしあやう
 舞を提着はるゝのけしあやう
 波を提着はるゝのけしあやう
 雨を提着はるゝのけしあやう
 雪を提着はるゝのけしあやう

池
 田
 二
 三
 古
 新

あはれなるはなをみればさきさきの花

花見

あはれなるはなをみればさきさきの花

花見

あはれなるはなをみればさきさきの花

花見

あはれなるはなをみればさきさきの花

花見

あはれなるはなをみればさきさきの花

花見

あはれなるはなをみればさきさきの花

花見

あはれなるはなをみればさきさきの花

花見

あはれなるはなをみればさきさきの花

花見

あはれなるはなをみればさきさきの花

花見

あはれなるはなをみればさきさきの花

花見

あはれなるはなをみればさきさきの花

花見

あはれなるはなをみればさきさきの花

花見

藤原氏に名はあはれきりし人なり	さへもけし羽のたけや野の雪を	あまをいれしきりたる法を	あふはかりたきあはれはきり	あふはかりたきあはれはきり	あふはかりたきあはれはきり
李嶠	風	お風	布	也	杜

あふはかりたきあはれはきり	あふはかりたきあはれはきり	あふはかりたきあはれはきり	あふはかりたきあはれはきり	あふはかりたきあはれはきり	あふはかりたきあはれはきり
多	松	人	若	若	若

水色清花紅顔を照る色

あー 何れやふと胸をなぐりて

田 蜀黍

花の如き物なるはなやうな田 蜀黍

花の如き物なるはなやうな田 蜀黍

遠くへ



桂 子

桂 子



